

「DNT環境塾 環境と塗料についてのセミナー」 10年の歩み

当社では毎年、建築塗装分野の動向や国内外における環境問題の現状などについての基調講演や、ゲストの講師及び当社技術スタッフが、時代に対応した環境対応形製品を解説・紹介する「DNT環境塾 環境と塗料についてのセミナー」を開催しています。10年目を迎えた2012年度は「塗料で貢献する環境支援」をテーマに全国10か所で実施し、近藤照夫ものつくり大学(埼玉県行田市)教授による基調講演「建築内外装を取り巻く技術動向」のほか、当社技術スタッフによる環境対応技術に関する講演も行いました。

また、このセミナーの一環として東京で年一回開催しているのが「カーテンウォールコーティングフォーラム」です。2012年度は「環境に配慮した加熱硬化形塗装仕様の動向」をテーマに基調講演が実施され、その後業界各社の技術責任

者が参加したパネルディスカッションもあり、活発な議論が展開されました。

今後も両セミナーの継続開催を通じて塗料にとっての「環境」とは何か、その技術的な可能性をめぐる多様な情報を発信してまいります。



「DNT 環境セミナー」会場風景

■ セミナー開催地

札幌、盛岡、仙台、新潟、
水戸、東京、名古屋、富山、
石川、大阪、岡山、広島、
高松、福岡、石垣島、
宮古島、沖縄



- 環境と塗料についてのセミナー
- カーテンウォールコーティングフォーラム
- ☆ 基調講演
 - ・ 技術講演
- パネルディスカッション

■ テーマと講演内容

2003

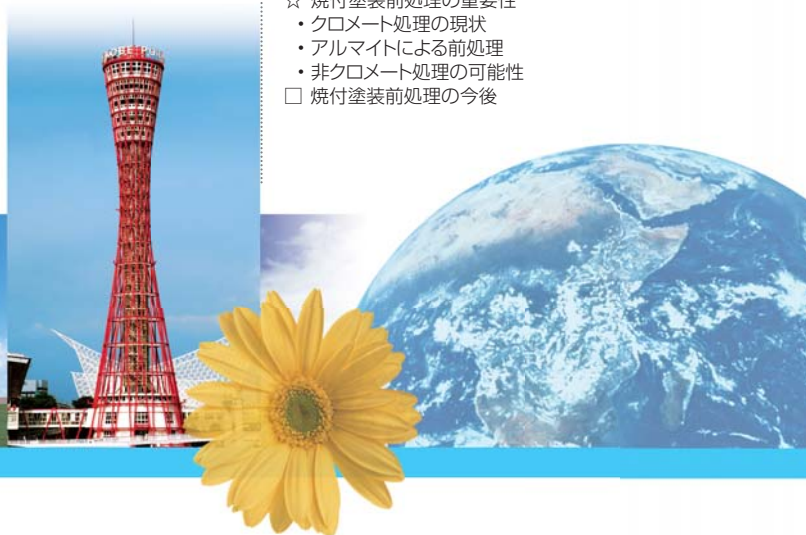
- 環境とリニューアル
 - ☆ 環境保全とリニューアル
 - ・ さび止め塗料とグリーン購入法
 - ・ 室内環境とグリーン購入法
 - ・ 室内環境と改正建築基準法
- (開催回数：6回)

- 水性樹脂塗装の歩みと将来展望
 - ☆ アルミ外装と塗装
 - ・ 溶剤可溶性水性樹脂の特徴と今後の技術動向
 - ・ カイナー500®塗装について
 - アルミ外装の将来展望

2004

- 2004年環境とその対応
 - ☆ 環境保全の推進と今後の動き
 - ー 公共建築工事標準仕様書の制定と今後の動きー
 - ・ 環境対応形塗料の問題とその対策
 - ー 公共建築標準仕様書の改訂も含めー
 - ・ 03年学校塗装とその総括・対策
 - ・ さび止め新JISと今後の動向
 - ・ (無償提供)色彩提案ソフトの解説と活用
- (開催回数：15回)

- アルミニウム焼付塗装
 - ー 前処理の今後ー
- ☆ 焼付塗装前処理の重要性
 - ・ クロメート処理の現状
 - ・ アルマイトによる前処理
 - ・ 非クロメート処理の可能性
- 焼付塗装前処理の今後



2005

- 2005年環境とその対応
- ☆ 環境規制に応じた仕様書・指針類の制改定
 - ・環境対応形塗料の問題とその対策
 - VOC・F☆☆☆☆などの環境用語の正しい理解—
 - 正しい環境対応形塗料の選び方—
 - ・構造物用塗料の環境対応について
 - 水性さび止め塗料における現状と問題点—
 - 環境対応塗料と機能性塗料について—
 - ・景観における条例と色彩の関わり (開催回数：12回)

- アルミニウム焼付塗装の現状と将来
- ☆ 焼付塗装の標準化と今後の方向
 - ・塗装におけるVOC規制とVOC排出規制
 - ・海外における六価クロム規制
 - ・塗料用ふっ素樹脂の環境対応
 - ・塗装業者としての環境対応への取り組み
- アルミニウム焼付塗装の方向性

2006

- 2006年環境と省エネ
- ☆ 環境と省エネルギー
 - 一断熱構法の有効性と遮熱・断熱塗料への期待—
 - ・遮熱塗料によるヒートアイランド現象の緩和
 - ・鉄部用塗料における環境対応動向
 - ・建築塗料における環境規制の現状と対策 (開催回数：11回)

- アルミニウム焼付塗装
- 環境保全・健康安全への配慮—
- ☆ 環境への配慮—現状と今後—
 - ・ゼネコンの場合
 - ・表面処理専業企業の場合
 - ・非クロメート処理の評価検討
 - ・粉体塗料の検討
- 環境保全・健康安全への配慮

2007

- 塗料・塗装における環境配慮の動向
- ☆ 仕様書・指針類の改定における環境への配慮
 - ・環境に配慮した建築塗装システム
 - ・環境負荷低減形省工程塗装仕様について
 - 構造物のライフサイクルコスト(LCC)低減に向けて—
 - ・日塗工標準色「D版」完全活用法 (開催回数：11回)

- アルミニウム焼付塗装
- 環境配慮の最新動向—
- ☆ 欧州と日本における環境配慮技術の動向
 - ・クロメート処理に対する代替技術の評価
 - ・QUALICOATの概要と動き
- 焼付塗装に対する環境配慮の今後

2008

- 環境保全に関する最新動向
- ☆ 環境保全と健康安全への配慮
 - 研究開発や規制の動向—
 - ・建築塗料環境Newスタンダード
 - 水性塗料・遮熱塗料の展開—
 - ・R&Lの低減
 - 環境負荷低減とライフサイクルコスト—
 - ・焼付塗装における環境規制 (開催回数：11回)

- アルミニウム焼付塗装—最新技術の動向—
- ☆ 最新の研究成果と今後の方向性
 - ・日本建築仕上学会による研究成果
 - ・ゼネコンにおける取り組み
 - ・CW業界の動向
 - ・塗装業界の動向
- 塗装技術の今後

2009

- 塗料でできる環境への配慮
- 環境にやさしいマル得情報—
- ☆ 建築塗装に関連する環境配慮
 - 国内と欧州の動向—
 - ・環境にやさしい塗装仕様の提案
 - 今すぐ簡単に!環境配慮への第一歩!—
 - ・環境にやさしいLCC削減仕様
 - 地球にやさしく経済的なインフラ整備と維持管理のために—
 - ・環境にやさしいDNTの焼付塗料
 - すぐでできる環境規制対策—
 - ・環境と人にやさしいカラーデザイン
 - カラートレンド・仙台市景観計画・カラーデザイン等— (開催回数：11回)

- アルミニウム焼付塗装
- 粉体塗装の技術の動向—
- ☆ 粉体塗装に関する最新研究成果と技術動向
 - ・日本建築仕上学会による研究成果
 - ・総合建設業界の取り組み
 - ・塗装業界の取り組み
- 粉体塗装技術の今後

2010

- 塗料で提案!—環境対策 & Eco Life—
- ☆ 深刻化する環境政策と建築工事標準仕様書の動向
 - ・人と住まいと地球にやさしい建築塗料の薦め
 - ・人と地球にやさしい防食新技術および補修工法の提案
 - 地球環境の持続的保全と経済的なインフラ維持のために—
 - ・金属焼付用塗料の最近の環境対応への取り組み (開催回数：11回)

- アルミニウム焼付塗装
- 急速に進む粉体塗装への注目—
- ☆ 粉体塗装に関する最新研究成果
 - ・日本建築仕上学会による研究成果
 - ・軽金属製品協会による実験的評価
 - ・ゼネコンでの評価検討
 - ・塗料メーカーの新技術
- 粉体塗装の適用と課題

2011

- 色彩調和・環境機能性塗料
- 可能性を広げる彩りとペイントテクノロジー—
- ☆ 建築塗装分野の動向
 - 環境保全とJIS改正による仕様書の改定—
- ☆ 進化し続けるカラーとペイントの可能性
 - ・遮熱塗料で提案する効果的な色彩設計
 - 高日射反射塗料の最新動向—
 - ・人と地球に優しく鋼構造物を護る防食技術
 - 耐火塗装システムとVOC削減仕様について—
 - ・カラーデザインの最新動向
 - 景観色彩の現状と日塗工「塗料用標準色F版」解説— (開催回数：9回)

- 環境に配慮した焼付塗装仕様の技術動向
- ☆ クロムフリー系化成処理と粉体塗装に関する最新研究成果
 - ・日本建築仕上学会による研究成果
 - ・塗装工場での環境配慮の模索
 - ・着色塗装下地としての陽極酸化皮膜の実績と今後の方向性
 - ・最近の国内粉体塗装の外装使用事例紹介と今後の動向
- アルミニウム合金に対する焼付塗装仕様の方向性

2012

- 塗料で貢献する環境支援
- ☆ 建築内外装を取巻く技術動向
 - ・住まいの快適環境を支援するペイントテクノロジー
 - 水系塗料でできる事—
 - ・環境に配慮した最新の防食塗料技術
 - 水系塗料システムの進展—
 - ・安全・防災に使えるシンロイヒの蛍光・蓄光塗料
 - ・学校木床・クリーンルームへの水性塗料提案
 - ・復旧工事—土木用接着剤・水中防食材の提案
 - ・色の不思議と、新潟市の街の色
 - ・DNライティング(株)の環境対応
 - LEDランプの最新情報— (開催回数：10回)

- 環境に配慮した加熱硬化形塗装仕様の技術動向
- ☆ 塗装仕様に関する研究成果の概要
 - ・日本建築仕上学会による研究成果
 - ・ふっ素/ポリエステル系ドライブレンド粉体塗料の開発と展望
 - ・ふっ素樹脂粉体塗料の最新開発動向
- 環境に配慮した塗装仕様の方向性

